







⇒ やぐらの組立ての様子

### 清里ふるさと祭



清寿会連合会長 蜂巢泰司  
平成十八年四月、市より地域づくりモデル地区の指定を受け、まちづくり協議会が設立され十一年ぶりに清里地区のまつりを復活させることができました。まつりの前半は子供達が楽しめるイベントが沢山用意され、特に模擬店やアトラクション、プレゼントコーナーでは、どの子も笑顔に満ちあふれ、あちこちで弾む声が聞こえてきました。

後半の夜の部の郷土の伝統を代表する盆踊り、八木節では櫓を囲んで、老若男女の方々が踊りの輪の中に入り楽しいひと時を過ごしておりました。

打ち上げ花火は、間近で大輪を咲かせる花火を清里中のどの家庭からも大音響とともに鑑賞し満喫する事ができたのではないでしょう。か。天候にも恵まれ、清里ふるさと祭りが盛大に行えたと言う事は、大変すばらしい事です。私も清里地区に生まれ、育って、七十数年暮らしてまいりましたが「本当に清里という所は心安らぐよい所」だと再認識しました。この「ふるさと祭り」でまさしくテーマである心豊かで活力あるまちづくりの第一歩を踏み出せたのではないかと思っております。そしてさらに誰もが安全に安心して生き生きと暮らせる清里に発展できるように心より祈念しております。まつり開催にあたり御尽力された関係者各位皆様方には大変お世話になりました。清寿会を代表しまして厚く御礼申し上げます。

### 清里ふるさと祭

青梨子町 桜井玉枝

第一回清里ふるさと祭り御成功おめでとうございました。「老いも若きも」その一言に尽きるお祭りに設営なさった方、協力された方の御苦労に感動致しました。

子供達にも良い思い出となることでしょう。私も四十五歳の頃、東京音頭が流行したとき桜の花の手拭いを首に掛けて踊った事を今でもはつきりと覚えております。車椅子のお年寄り両親に連れられた幼子もリズムに合わせて踊る姿に清里中が一つになったよう胸



が熱くなりました。私も歳を忘れて参加させていただきました。幸い好天に恵まれ時間の経つのに従いだんだんと人数が増してゆくのびつくり致しました。二重三重の輪が出来、皆生き生きとした顔を見て地区としてこのような事業も必要なのだと思致しました。

調子にのって踊る八木節も見事でした。圧巻は間近に上がった花火にその都度の歓声にすっかりお祭り気分になりました。次は、二年後との事、私もまた参加させて頂きたいと思っております。皆様、楽しい一夜をありがとうございました。

### 清野町に伝わる伝統芸能

野良犬獅子舞

有坂 淳

前橋市の一番西のはずれ、昔の三国街道沿いに開けた旧野良犬村の集落に、古くから伝わる伝統芸能がある。旧名称を残す意味から「野良犬獅子舞」と呼ぶ。

現在では、町の名を「清野町」と改称、その氏神様である八幡宮境内を獅子場として、秋祭りに奉納されている。流派は関白龍天流(かんぱくりゆうてんりゅう)と呼ばれ、通り太鼓九種類、舞い十三種類が伝えられている。昔から五穀豊饒、集落の家々の安全を祈願して舞われて来た獅子舞であるが、干魘のときの雨乞いなどにも、盛んに舞われて来たものである。

本来は大人が舞うものだが、生涯学習の一環として、大人も子供も一緒になって、この伝統芸能を受け継いでゆくために練習に励んでいる。今年度は、十月十四日午前十時から八幡宮境内の獅子場で奉納の舞が披露される予定だ。多数の観覧を期待している。

